

2008 年度

科目名 日本語日本文学特殊講義IVB	対象学科・学年 文学部日文3回生	担当者 高橋 圭一
授業テーマ 最後の「大坂の陣」		
授業の概要と目標 「実録」についての講義です。実録とは「事実の記録風の小説」の意で、多くは江戸時代に実際に起こった事件を題材とし、間違いなくこれが真実であると銘打たれているものの、浮世草子や読本同様全くの創作とみなすべき作品群です。予定より遅れに遅れていますが、『大坂城の男たち』という本（岩波書店刊）を出しますので、大坂の陣関係の実録を今年度限りとして取り上げます。		
評価方法 講義の終わりにレポートを提出してもらいます。出席も重視します。		
テキスト 使用しません。原稿のコピーを配布します。	著者	出版社
参考書 『実録研究一筋を通す文学一』（購入の必要はありません）	著者 高橋圭一	出版社 清文堂出版
授業スケジュール・内容 日本語日本文学特殊講義IVAの続きです。 1、本編その三。「戦国生き残りの古豪」、後藤又兵衛。 2、 続き。その高名。武辺話中の後藤又兵衛。 3、 続き。実録『難波戦記』中の後藤又兵衛。 4、 続き。後続の実録に描かれた後藤又兵衛。 5、 続き。明治期の講談速記本中の後藤又兵衛。 6、本編その四。「鬼武者」薄田隼人。その失態と「橙武者」。 7、 続き。『難波戦記』の失態と『厭蝕太平楽記』での雪冤。 8、 続き。『本朝盛衰記』に描かれた超人的な活躍と壮烈な最期。 9、 続き。薄田隼人の前身、岩見重太郎。 10、本編その五「天下無敵の軍師」真田幸村。 11、 続き。抜け穴と短銃。 12、 続き。父昌幸のこと兄信之のこと、など。 13、 続き。機略縦横の軍師の誕生。 14、 続き。幸村と忍者猿飛・霧隠。 15、生の講談鑑賞。		